

# 平成29年度 災害の備えに関する調査結果

## 1) 調査の目的

ケアセンターでは、毎年アンケートを実施し、現状の把握や改善に向けて取り組んでいます。今年度は災害の備えに対する調査を行う事としました。災害に対する日頃のお考え等をお聞かせ頂き、現状を明らかにする事を目的として、可能な限り安心して望む生活ができるよう一緒に考える機会にしたいと思い実施させて頂きました。

## 2) 調査期間

平成29年12月～平成30年3月

## 3) 調査方法

介護支援専門員による聞き取り

## 4) 調査対象者

調査期間中に実績のある居宅利用者 196人

## 5) 調査票の回収状況

回収数153件 回収率 78%

## 6) 調査結果

別紙参照

## 7) 考察

今年度は大雪に見舞われ、振り返りの良い機会になったと共に、当事業所としても、改めて実態把握と対策を検討していく必要があると感じました。

1つ1つの質問につきましては、ケアセンター内で検証しご報告したいと思っております。

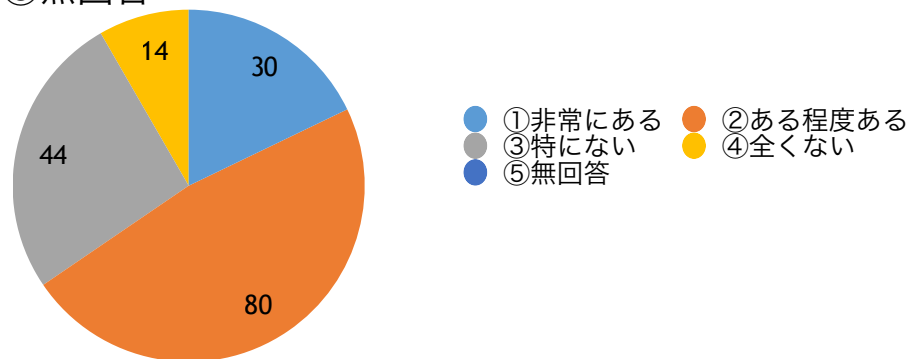
お忙しい所、ご協力頂きありがとうございました。

加賀福祉サービス ケアセンター一同



質問1. あなたは、防災への関心はありますか？

①非常にある	30
②ある程度ある	80
③特にない	44
④全くない	14
⑤無回答	0

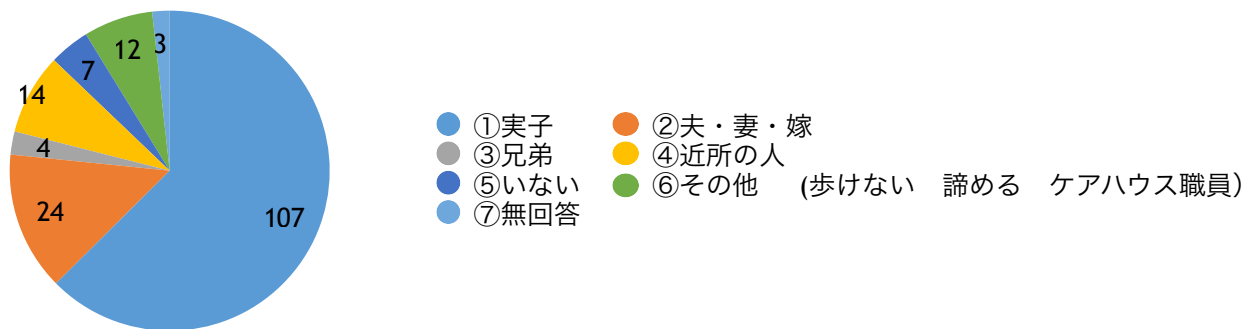


【結果から見えてきたこと】

- ・ 調査の結果、何らかの防災への関心がある方が73.8%である。
- ・ 関心がある方では近年の災害が増えてきており、ニュースや身近な話題から関心が見られている。
- ・ 8%の人が防災への関心を全く示さなかった。

質問2. 災害時にSOSを求められる人はどなたですか？

①実子	107
②夫・妻・嫁	24
③兄弟	4
④近所の人	14
⑤いない	7
⑥その他 (歩けない 諦める ケアハウス職員)	12
⑦無回答	3

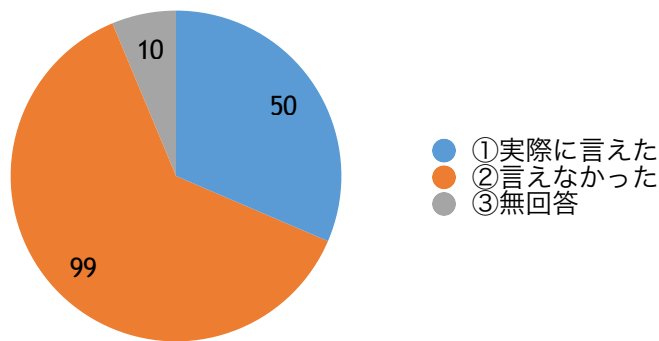


【結果から見えてきたこと】

- ・ 80%の方が親族へSOSを求めると回答。
- ・ ケアマネジャーや地域へ助けを求めるという回答が8%と非常に低い結果だった。
- ・ 暮らしの困りごとや課題の解決にあたりケアマネジャー等関わる事業所に相談するが、災害となると本人、家族等で助け合わないといけない気持ち強い現れとなった。

質問3. その方の連絡先をご存知ですか？ (実際に言えたかどうか？)

①実際に言えた	50
②言えなかった	99
③無回答	10

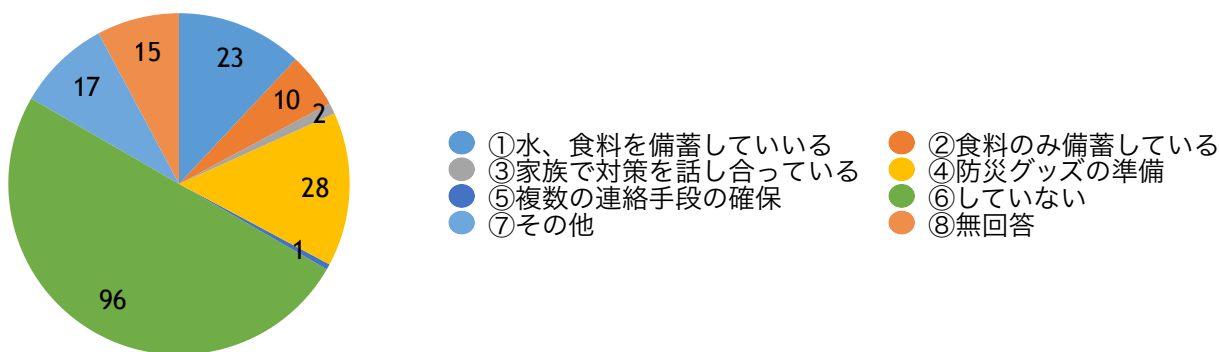


【結果から見てきたこと】

- ・連絡を言えない方が79.9%。
- ・連絡先を覚えようとか、身につけようという前向きな話はあまり聞かれなかった。

質問4. 「備えあれば憂いなし」ですが、現在行っている災害への備えは何ですか？（自由記載）

①水、食料を備蓄している	23
②食料のみ備蓄している	10
③家族で対策を話し合っている	2
④防災グッズの準備	28
⑤複数の連絡手段の確保	1
⑥していない	96
⑦その他	17
⑧無回答	15



（その他の内容）

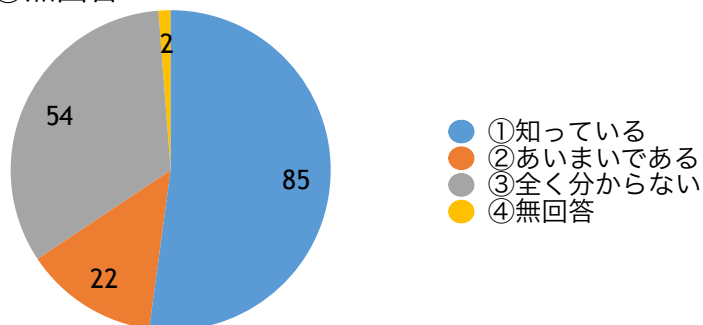
電気自動車(バッテリーの代わり)、ストマー用品、車いす、ガスボンベ  
日用品（ティッシュ・懐中電灯等）、頭巾・ヘルメット、敷物・段ボール  
紙パンツ、電池・薬・下着、保険証、消火器

【結果から見てきたこと】

- ・災害への備えをしていないと半数の回答があった。中には防災グッズを持っている人でも景品でもらったものがそのまま置いてあり、中身を確認していない人もいた。

質問5. 災害時の自宅近くの避難場所を知っていますか？

①知っている	85
②あいまいである	22
③全く分からない	54
④無回答	2



(避難場所)

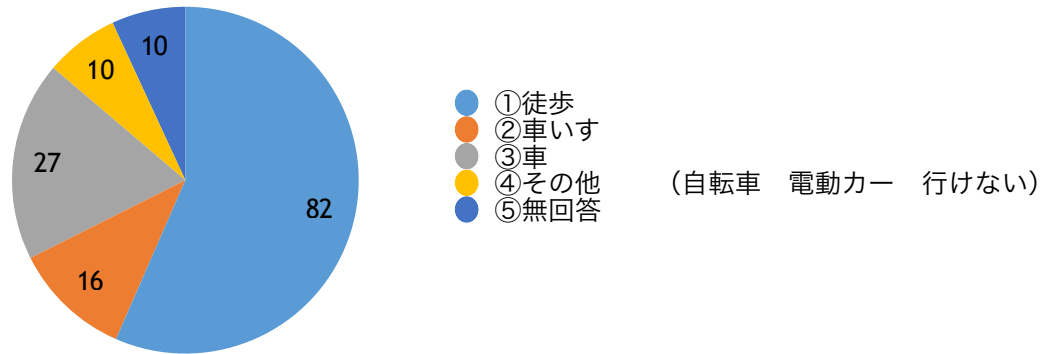
地区会館、公民館、きまっていない、家、小、中学校、神社、公園  
堤防、文化会館、広場、ゴルフ場、空き地

【結果から見てきたこと】

- ・知っている人は52.1%。全くわからない人は33.7%。
- ・避難場所が住んでいる場所によりそれぞれ違いがある。

質問6. 災害時の移動方法については？

①徒歩	82
②車いす	16
③車	27
④その他 (自転車 電動カー 行けない)	10
⑤無回答	10

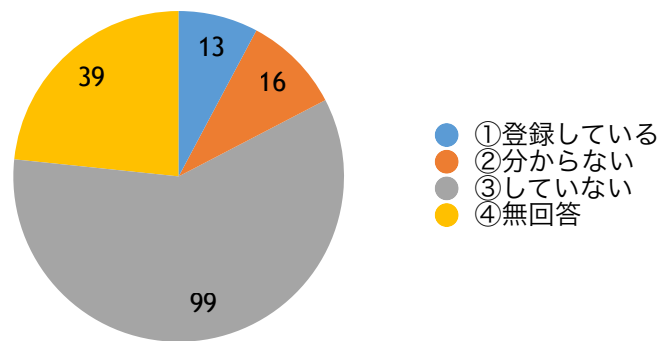


【結果から見てきたこと】

- ・徒歩と回答した方が56.5%。実際に歩いて無事に避難場所へ移動できるのかは不明。
- ・距離や普段の生活ぶりから、途中で歩けなくなってしまう方もいるのではないか。

質問7. 災害見守りネットワークに登録がありますか？ (対象：一人暮らし、高齢者世帯等)

①登録している	13
②分からない	16
③していない	99
④無回答	39



【結果から見てきたこと】

- ・見守りネットワークの登録者が7.7%と少ない結果だった。
- ・安心カードや災害見守りネットワークの周知が十分ではない。

質問8. その他、心配やご不安な点等

- ・この辺天災あまりないし、その点助かる。
- ・車いすなので誰もいない時にげられない。
- ・夫がいなくて災害が起きたら不安。
- ・土砂災害危険区域、山が崩れるかと思うと心配。
- ・雨もりが心配。
- ・地震で家がつぶれたりしないか心配。
- ・大雨で川が溢れないか心配。
- ・地震、火災、空爆時、体力がない。
- ・一人で逃げられない、一人でいることが不安。

- ・見守り登録したい。
- ・ボタン押したら、来てくれる人がいるといい。
- ・何処へ声かけたらいいかわからない。
- ・災害時の移動が心配。
- ・夜間特に気持ち悪い。
- ・避難場所まで行けない。逃げられない。
- ・避難場所で待つしかない。
- ・市役所にTellしても対応してもらえず、あきらめている。
- ・足が悪いので不安。目が見えなくて不安。
- ・トイレが心配。
- ・どうやっても逃げれんわ。
- ・考えんようにしとる。
- ・どうもならん。

### 【災害アンケートの課題について】

災害時にSOSを求められる人は家族という意見が80%を占めた。日頃の暮らしの相談事はケアマネジャー等、係る事業所に相談するが災害は暮らしとは切り離して考えている人が大半という結果である。しかしそのうちの80%の人が実際にSOSを求める人の連絡先を言えなかった。そのことを踏まえるとまだまだ自分の事として考えていないことがわかった。

また避難場所は知っているが、移動方法は徒歩と回答する人が大半であり要介護状態の利用者の実情に合わない結果であった。

### 【福祉サービスでの今後の取り組み】

1. 予測される災害について、情報提供を行う。
2. 緊急時の連絡先や災害時の連絡先を確認し情報を整理する。
3. 避難場所や避難方法を確認する。
4. 安心カードや災害見守りネットワークの登録、地域とのつながりを構築する。
5. 自分事として関心を持ち、自主的に災害時に必要な備品の確認を行う。